

# 塩筑教育会レポート

## G I G A スクール

一人ひとりがICTの善き使い手を  
めざす学びのあり方について

教育課題検討委員会 (塩尻2)  
塩尻西小学校 関山 菜穂

# 研究内容

- 小学校・中学校それぞれのICT機器の使い方のきまりについて
- ICT機器を文房具として使うことについての課題と提案
- 家庭学習で主体的なICT活用につなげるには（家庭との連携を含む）
- デジタルシチズンシップ教育の取り組み例と反省点

# 研究内容の理由

今年度、塩尻市ではリーディングDX事業の指定校がいくつかありました。「そこでの校務や授業での学びでの実践と内容が重なってしまっでは意味がない」ということがまずはじめに出されました。そこで、授業改善の内容ではなく、それよりも基本のところをフォーカスしたいということになり、タブレット自体の使い方や向き合い方について考えていこうということになりました。

# | 起きている問題・課題

現状をお話していくと、小学校で課題となっていることと、中学校で課題となっていることが異なっているということが明らかになってきました。そこで、小学校の課題と課題解決に向けて・中学校の課題と課題解決に向けて を分けて発表していきます。

# | 小学校の課題について

- ・目の前に刺激があるものがあるとなつて触りたくなる
- ・充電忘れ、持ち帰りをすると持ってこない子への対応
- ・低学年は最初の出会いの場面をどう設定するのか、また保護者にどう理解してもらうのかが難しい
- ・きまりの確認についてはわりとあいまいな状況がどの学校も多い（担任任せ）
- ・勝手にパスワードを変えて開けなくなる
- ・なぜタブレットを使っているのかが理解できていない子がいる

## | 小学校の課題について2

- ・ タイピングコロシウムのような得点をかせいだり攻撃をしていくようなゲーム性の強いアプリは、依存性が高くイライラしたり落ち着かない原因になる
- ・ 何かを調べる際に、「AIによる概要」ばかりを見るだけで、しっかりとその先の情報を読まない子が多い
- ・ 保護者が学習での扱いがよくわからないままである
- ・ デジタルとアナログの使い分け（何かを調べる、書くにしてもタブレットばかりになりそれが書く力や考える力に悪影響もあるのではないか）

# | 小学校の課題をまとめると…

まだ自律までいくのは難しい中で、どのようにルールやマナー、正しい使い方を身に付けさせていくにはどうしたら良いか？という問題点が明らかになってきました。

# 小学校の課題への解決策

問題点① 「目の前に刺激があるとなついさわってしまふ」「関係ないものを見る」 など授業内で起こる決まりを守れない問題・決まりの確認について担任任せになりがちなこと

## 解決案

- ・ 日頃から常にルールを示し、確認を行う。
- ・ 使わない時は端末を閉じる
- ・ 担任からだけでなく、学校全体や低学年・高学年で年度初めにルールの確認の機会をとる

# | 小学校の課題への解決策

部会では、中学校では年度のはじめ、また多いところでは学期ごとに学校全体で、タブレット使用についてのルール確認やタブレット使用の目的について確認するオリエンテーションが開かれているということがわかりました。小学校でも、情報担当の先生を中心に、ぜひ取り入れてほしいところです。

# | 小学校の課題への解決策

**問題点② 「小学校で使い始める時の出会い方をどうしたら良いか・保護者へどう目的や使い方を伝えていくか」**

## 解決案

**こちらについては、洗馬小・宗賀小の実践を紹介します。**

# | 小学校の課題への解決策

問題点③「ゲーム性のあるもの・中毒性のあるものへの線引き」

## 解決案

- ・ 小学校の段階で自分で判断させるのは難しい場合がある
- ・ 教師が子どもたちの実態をみて、制限をかけることも必要

# 小学校の課題への解決策

問題点④ 「AI概要ばかりに頼って正しく情報がよめない」「AIモードの活用」 など情報モラル・デジタルシチズンシップ育成

## 解決案

- ・ 使い方については実践あるのみ。授業に情報の読み方が学べるものを取り入れていく。(社会科など)
- ・ 情報モラルについては、家庭と連携することも含め、情報週間などで学習動画を親子で見る課題を出していく

## 4年生及び保護者の皆様へ

今週末、情報モラルの宿題を出させていただきました。親子で情報モラルの動画を見ていただき感想をお書き下さい。保護者の皆様は、一緒にご覧になったというサインのみでも構いません。子どもたちがネット社会を安全に過ごしていけるようご協力をお願いします。次にページから接続説明と感想用紙があります。ご協力よろしくをお願いします。

**なお、提出箱へは6月23日（月）朝8時まで  
お願いします。**





↑ 小学校版を選択します。

学年から

「モデルカリキュラム」対応表 (小学校用)

文部科学省「情報モラル指導モデルカリキュラム表」に沿って事例を表示しています。

「情報活用能力の体系表例」対応表 (ステップ1~3)

文部科学省「情報活用能力の体系表例 (IE-Schoolにおける指導計画を基にステップ別に整理したもの)」に沿って事例を表示しています。

↑ 「モデルカリキュラム」対応表を選択します。

まずはここから 全ての事例を見る 確かめて進める

ここからはじめる Netモラル

時間が限られていてもこれだけは！どこから手をつけていいか迷う時にもこちらから。

事例一覧

「事例で学ぶNetモラル」に収録されている事例すべてをご覧いただけます。

Netモラル CBT

テスト(CBT)で児童の弱点を見つけ、それに合った事例アニメをお勧めします。

↓ 学年からを選択します。

2024年度 新事例はこちら

今年度から追加や更新される事例の一覧です。

学年から

文部科学省の各カリキュラムに沿って事例を表示しています。

保護者向け

懇談会や研修会などの保護者の方が集まる機会に使える、アニメーションや、配布資料があります。

お気に入り 児童用トップページ サイトマップ

「モデルカリキュラム」 対応表

情報モラル指導 モデルカリキュラム 対応表 (小学校用) | モデルカリキュラム 対応表 (エクセル)

L1 小学校1～2年 | **L2 小学校3～4年** | L3 小学校5～6年

小学校3～4年生を選択します。

### 1. 情報社会の倫理

#### ↓ a1～3：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ

##### a2-1：相手への影響を考えて行動する

- A-43 なりすまし**  
相手のためだったとしても  
対象年齢 小3～6、中、高  
内容 事例アニメ教材/個人情報・プライバシー  
指導資料のダウンロード
- B-36 ネットもリアルも大切に**  
それぞれの良さを知って  
対象年齢 小3～6  
指導資料のダウンロード

- C-27 ネットと私たちの生活**  
小1～6 同じものを使っているのに…  
ルール・モラル・マナー  
指導資料のダウンロード
- C-26 タブレットパソコンのやくそく**  
小1～2 みんなのタブレット  
ルール・モラル・マナー  
指導資料のダウンロード
- C-25 フィルタリング**  
小3～6、中、高 こんなの見たくなかったのに  
セキュリティ・ウイルス ネットの仕組み  
指導資料のダウンロード
- C-24 ネット依存**  
小1～4 動画に熱中しすぎると…  
依存(中毒) 健康  
指導資料のダウンロード



C-32

持ち帰り学習

タブレットパソコンを家に持って帰ったら

対象年齢 小1~6

内容 事例アニメ教材/ルール・モラル・マナー トークアプリ



指導資料のダウンロード



K-09

6月20日~の課題は「調べ学習と著作権 (ちょさくけん)」です

対象年齢

内容



指導資料のダウンロード

▼ b1~2: 情報に関する自分や他人の権利を尊重する

b2-1: 自分の情報や他人の情報を大切に



B-35

プライバシーの尊重

知られたいかなかったのに

対象年齢 小1~6

内容 事例アニメ教材/ルール・モラル・マナー 個人情報・プライバシー



指導資料のダウンロード



C-20

調べ学習と著作権

勝手に使っていないのかな

対象年齢 小3~6

内容 事例アニメ教材/ルール・モラル・マナー 著作権・肖像権



指導資料のダウンロード



C-28

写真の肖像権

勝手にアップしないで

対象年齢 小3~6

内容 事例アニメ教材/SNS 著作権・肖像権



指導資料のダウンロード

年 組 名前

今回の課題「調べ学習と著作権」提出日6月23日まで

児童の感想

保護者の方の感想

# | 中学校での課題について

- ・ 中学校では制限が少ない分、休み時間でもYouTubeを見ていて会話が少なくなっている子もいる
- ・ 自分のもののような感覚になっていて、扱いが雑になっている
- ・ デジタルを使うことで見栄えばかり気にしていて、肝心な中身が伴っていないことがある（便利さのあまり考える力がついているのか）

## **| 中学校の課題をまとめると…**

**小学校に比べ、やはり大人に近づいている  
中で、自分で考えて決めていく力＝自律  
をめざしたい という課題が出されました。**

# | 中学校の課題への解決策

- ・すでに行っているところもあるが、年度のはじめに決まりや目的について全校で確認する（特に中学生にとっては使うのが当たり前になっているからこそ必要）
- ・ネットモラルの講演会などはなるべく早い時期に行う
- ・情報週間ではどのクラスでもモラルについて取り組める工夫をする（スプレッドシート等活用）

# 学校における情報端末利用： 現在の実践と今後の提案

## 今後の提案：問題発生を防ぐための先手

低学年：  
段階的なアプリ利用

高学年：家庭と連携  
したモラル教育

中学校：  
問題発生時の  
全校指導と自己評価



子どもの発達に合わせ、約束事を決めた上で利用アプリを徐々に増やす。

「情報週間」の家庭学習や道徳の授業で、ネット上のコミュニケーションを学ぶ。

全校集会で指導し、学期ごとに利用ルールの自己評価プリントを配布する。

現在の実践：学齢に応じたアプローチ

利用開始時に全校で  
ルールを確認

ネットモラルの  
講演会を早期に実施

全学年が参加できる  
「情報週間」



問題が起きてからではなく、年度の初めなどに使い方を徹底する。

小学校高学年など、なるべく早い時期に専門家から学ぶ機会を設ける。

スプレッドシート等で計画を共有し、全クラスが確実に取り組めるよう工夫する。

## まとめ

- ・子どもたちの実態や成長段階に合わせ、ICT機器との向き合い方を教師も一緒に考えていく必要性がある。
- ・必要なタイミングで、使い方やルールについて示したり、児童生徒とともに使い方について常に考えさせていくことも大切。